

医薬品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	洗ビン室で作業中、ライン作業が一旦停止となった合間にトイレ休憩し、作業を再開するために作業場所に戻る際に床に置いていたビニールシート（廃材）の端に足を取られ、転倒した。	58	30~49
2	14~15	本所NS棟1階分面室の廃液コンテナへ5Lポリバケツに入った廃液を廃棄後、空のポリバケツを左手で持って早歩きでNS棟1階測定室に戻る際に、廊下で躓き転倒した。	61	1000~9999
5	8~9	綿棒消毒剤包装室で、作業台上のものを取ろうと作業台に近付く際に、平らな床面だが安全靴で滑りが悪くて躓いた。そのまま前のめりになり勢いがあるまま作業台の角で頭を打ち、同時に倒れ込んだ際に強く膝を打った。	27	100~299
7	16~17	入浴剤の製造棟2Fで部品組み立て室から洗浄室へ向かう際、早足で歩いたため、足がからみ前のめりに転倒し、左膝を床面にぶつけた。特に床面に段差があるわけでもなく、濡れていたり、粉等の落下物もなく、不安全な要素はなく、ただ通路を歩いていた状況だった。転倒した瞬間を目撃した者はいない。	56	50~99
7	16~17	製剤工場内の錠剤自動選別機切替最終確認で、自動選別機の精度確認をするため機械の正面に移動しようと体勢を変えた際、自動選別機とプリンターを繋いでいる配線（コード）に右足が引っかかり、その場に転倒した。転倒の際、両手を床についたものの、右手に体重が掛かり手首をひねった。	59	300~499
9	16~17	1期工場1F洗浄室（2）において、目視選別機の洗浄で使用するバケツを持って移動していたところ、室内の床面が濡れていたために足を滑らせて転倒し、後頭部を床に打ちつけて、打撲ならびに皮下血腫を負った、また、その際に首も痛めた。	64	100~299

11	13～ 14	研究管理棟2階男子更衣室から工場棟の渡り廊下を清掃時作業員の一人が洗剤を撒いていることに気付かず、足を滑らし、右足をひねった。	64 ～ 299	100
12	13～14	包装室内で、作業場所から次の作業場所へ荷物は持たずに移動中、安全靴を履き、通常の歩行だったが、躓き、転倒した。その際、膝を強打し、受け身がとれずに前額部を強打し、擦り傷と多少の流血も生じた。	55 ～ 299	100

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html